

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	漁業集落排水施設管理運営事業	コード	01-01-10-10	担当課係	下水道課日生分室
事業実施期間	昭和57年度～		担当者	神谷信行	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	下水道			
	施策	適正な維持管理			
		電話	0869-72-1296		

事業について	
目的	漁業集落排水施設の機能を維持することにより、港内水質及び底質の改善・向上及び漁港周辺水域の水質保全・向上並びに漁村生活環境の改善に資すること。
対象(誰のために)	日生町頭島及び大多府地区で生活をする市民。 (日平均排出汚水量 頭島 154.7m <sup>3</sup> /日、大多府 36.8m <sup>3</sup> /日)
内容	管渠より自然流下及び中継ポンプ場から送水された汚水を回転円板生物接触方式(頭島)、土壌被覆型接触曝気方式(大多府)により処理する。浄化された水は塩素により滅菌し、瀬戸内海へ放流する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
放流量	69,890 m <sup>3</sup> /年		
汚泥処分量(含水98%)	170 m <sup>3</sup> /年		
水酸化率	100 %		
接続人口	698 人		
接続戸数	331 戸		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 人件費	20,649 2,255	国庫補助金等 使用料	0 9,043	直接事業費 人件費		国庫補助金等 使用料	0
		市債	0	市債		市債		0
合計	22,904	一般財源等	13,861	合計	0	一般財源等	0	0

結果指標①	必要人員	0.25 人		
	結果指標名	放流量		
	結果指標量	69,890		
	単位	m <sup>3</sup> /年		
	対前年比	—		
	事業費	24,612,323 円		
	単位当たりコスト①	352 円		

結果指標②	結果指標名	接続人口		
	結果指標量	698		
	単位	人		
	対前年比	—		
	事業費	24,612,323 円		
	単位当たりコスト②	35,261 円		

事業の成果	
成果指標名	放流水BOD (mg/l)
式又は説明	浄化槽法第11条検査結果
	17年度
成果指標量	5(頭島), 3(大多府)
対前年比	—
到達目標値	20mg/l以下
到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: <input type="checkbox"/>
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	放流水は水質基準を満たしており、頭島で発生した脱水汚泥については、天日乾燥したうえ、民間業者に処分委託して資源化している。実績量は、5.89tとなっている。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 69,000m <sup>3</sup> /年	結果指標量② 690人
目標値	成果指標量 放流水BOD 20mg/l以下	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	老朽化している施設の効率的改修及び委託費の見直し。	H19~	効率性を高めることにより、結果単位あたりのコストを下げる事が出来る。